

■ 健康寿命延伸に貢献！移動しながら楽しくトレーニングできる車いす ■  
**関西大学システム理工学部と株式会社をくだ屋技研が**  
**「トレーニング用車いす Joy fum(ジョイフム)」を共同開発**  
 ～ 全国の介護施設、高齢者施設向けに2016年11月21日(月)一般販売開始 ～

このたび、関西大学システム理工学部の倉田純一准教授が、株式会社をくだ屋技研（本社：大阪府堺市、代表取締役社長：林 正善）と共同開発を行ってきた足踏み式車いすが、「トレーニング用車いす Joy fum」（以下、「Joy fum」）として製品化され、本年11月21日（月）から一般販売が開始されることとなりました。

「Joy fum」は、足の筋力が弱くなってきた高齢者などを想定して開発されたトレーニング用車いすで、従来の車いすにはない“ステップ”を使用者自身が踏むことで前進することが最大の特長です。これにより、移動することが足の筋力を鍛えるトレーニングとなり、筋力が回復すれば再び自分の足で歩く喜びをもたらし、さらには健康寿命の延伸にも繋がると期待されています。

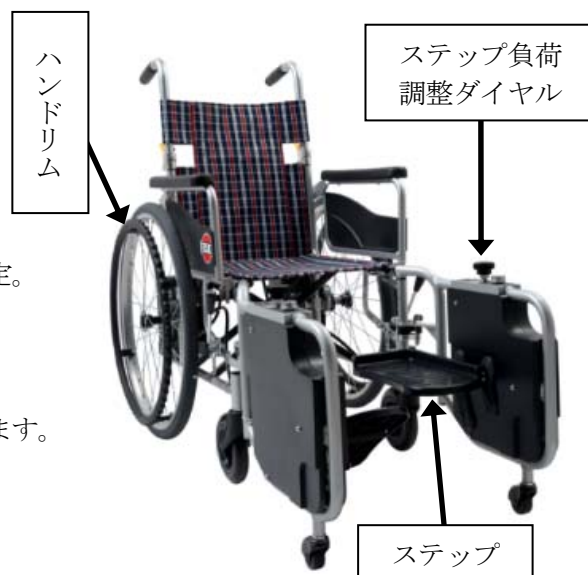
「Joy fum」の操作は簡単で、左右の足それぞれに用意されたステップを踏むことにより発生する水圧が、駆動輪を經由してタイヤを回転させ前進します。ステップを踏むことによる筋肉への負荷は3段階で調整可能であり、使用者の体の状態に応じたトレーニングが行えます。疲れた場合には、ハンドリムを使用すれば通常の手押し車と同様に前進・後進することもできます。また、車いすの下部にはステップからの動力伝達機構がありますが、こちらも通常の手押し車と同様に折り畳み可能であることも特長のひとつです。

この共同開発は、生活支援工学・制御工学を専門とする倉田准教授が開発した「足踏み駆動式車椅子」（特許第4584750号）を用いて取り組んだものであり、包括的な連携協定に基づく「堺市と関西大学との地域連携事業」の一環として、堺市の「ものづくり新事業チャレンジ支援補助金」の採択も受けています。共同開発の過程では、新たな特許（特許第5724023号）も取得し、藍野大学医療保健学部理学療法学科の検証協力を得て、3年にわたる共同開発の末、製品化に至りました。当面は、全国の介護施設、高齢者施設を中心に販売していく予定です。

本学では、今後も企業や自治体と連携して研究成果を社会に還元し、よりよい社会づくりに貢献してまいります。

**【製品概要】**

- ◆製品名：トレーニング用車いす Joy fum（ジョイフム）
- ◆発売日：2016年11月21日（月）  
※当面は全国の介護施設、高齢者施設を中心に販売予定。
- ◆販売価格：オープン価格
- ◆製品特長：
  - ・ステップを踏むと前進。疲れたらハンドリムでも移動可能。
  - ・移動しながらトレーニング。歩行や健康寿命延伸に期待が持てます。
  - ・ステップ負荷調整ダイヤルで体力・筋力に合わせた調整が可能。
  - ・動力伝達機構がありますが、折り畳み可能でコンパクトに収納。
- ◆製品仕様：サイズ L1180mm×W600mm×H915mm、質量 31kg
- ◆販売元：株式会社をくだ屋技研



以上 【トレーニング用車いす Joy fum】

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。  
 なお、本件に関する情報は、堺市から「堺市政記者クラブ」にも同時提供していることを申し添えます。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎  
 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266  
 www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。

